

支那事变

第三部

支那事变

第三部



0001

S 1.1.1.0 - 27 4384

REEL No. A-0225

0264

アジア歴史資料センター

499

支那事变

支那事变

0002

S. 1.1.1.0 - 27 4385

REEL No. A-0225

0265

アジア歴史資料センター

第一節	支那事變ノ勃發及事變處理方針並ニ初期重要決定事項 (附錄) 支那事變日誌及重要決定事項一覽表
第二節	支那事變初期ニ於ケル第三國ノ權益問題、租界關係問題 及海關通信接收問題
第三節	支那事變ト國際聯盟及九國條約會議
第四節	揚子江航行問題、天津事件、瀋陽通商問題
第五節	臨時政府、維新政府及蒙疆諸政府成立經過(附其地方 政府)
第六節	南京國民政府成立經過
第七節	日華基本條約ノ締結及日滿華共同宣言
第八節	國民政府參戰ニ伴フ諸取極及日華同盟條約ノ締結

外務省

0003

S 1.1.1.0 - 27 4386



502

支那事変(一) 支那事変(一)
支那事変(二) 支那事変(二)
支那事変(三) 支那事変(三)
對支宣戦ノ聯盟規約
五ノリニセル九國條約締約國會議

支那事変(一) 支那事変(一)

目次

S 1.1.1.0 - 27 4388

0005

501

支那事変(一) 支那事変(一)
支那事変(二) 支那事変(二)
支那事変(三) 支那事変(三)
對支宣戦ノ聯盟規約
五ノリニセル九國條約締約國會議

支那事変(一) 支那事変(一)

外務省

S 1.1.1.0 - 27 4387

0004

REEL No. A-0225

アジア歴史資料センター

六 武府會議 十一月二十四日報告

七 (一) 會議再招請ニ對スル帝國政府回答

(二) 十一月十日武府會議宣言草案

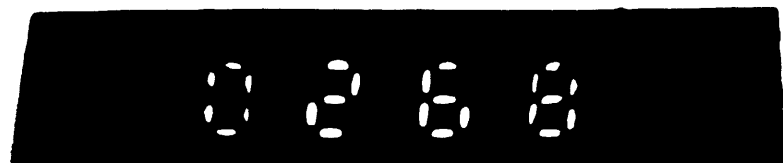
八 第一百回理事會ニ於ケル日支向題討議経緯

九 第一百回理事會經過概要

外務省

S 1.1.1.0 - 27 4389

(0006



支那
支那

支那事變ト國際聯盟
支那事變ト國際聯盟
及九國條約會議

支那ハ七月十六日米國政府ニ對シ七月七日事變勃發以來ノ經緯ヲ記シ、日本ハ聯盟規約、不戰條約、九國條約ヲ蹂躪シ支那ヲ侵略スルモノト難シタ覺書ヲ提出シ今回ノ日支紛争ニ關シ九國條約ニ基キ關係國ガ行動ヲ起スベキコトヲ要請シトコトハ當時外電ノ報ズル如クキアル、次デ支那ハ八月三十日及九月十二日國際聯盟ニ對シ右ト同シ内容ノ覺書ヲ提出スルト同時ニ九月十二日規約第十條、第十一條及第十七條ヲ援用シテ事變ヲ聯盟ニ提訴シタ、第十八回聯盟總會ハ九月十三日ヨリ開催セラレタガ十五日支那代表顧維鈞ハ得意ノ雄辯ヲ振ヒ日本ノ侵略ヲ訴ヘ聯盟ニ於ケル事變ノ取扱ハ理事會ノ決定ニ委スヘキコトヲ力説シタ、其處デ聯盟理事會ハ九月十四日先ヅ支那ノ提訴ヲ議題ニ追加シ、更ニ十六日問題ヲ諮問委員會（一九三三年二月二十四日日支紛争ニ關

外務省

スル臨時總會ノ決議ニ依ツテ設置サレタモノ）ニ付託スルコトニ決定シタガ其ノ際支那ハ右決定ヲ聯盟ノ措置ノ第一歩トシテ承認シ必要ノ場合更ニ理事會ニ對シ規約ノ條項ヲ援用スヘキ權利ヲ留保シタ、當初聯盟トシテハ日支事變ニ關シ支那側ノ提訴ハ以上無下ニ斥ケルコトモ出來ズ支那提訴ノ取扱振リニハ頗ル當惑シ居タト云フコトアルガ九月十四日夜「イーデン」及「デルボス」英佛兩外相ハ聯盟事務總長「アブノール」ト鳩首凝議シタ結果成ルベク問題ヲ荒立テズ一殊ニ第十七條ノ適用ヲ避クル爲一問題ヲ日支紛争諮問委員會ニテ審議サセルコトガ無難ナルト云フコトニ意見一致シタノデアツタ、ヨリタリ、次ニ支那政府ガ日支事變ヲ聯盟ニ提訴シテ以來九國條約締約國會ニ進展シテ經緯ト此ノ間ニ聯盟ガ執行ヲ措置ニ付キ述ベテ見度イ

外務省

云ハバ聯盟ト米國トノ間ニ喰ヒ違ヒガナイ様キ聯絡ヲトル機關ヲ
 支那ノ提訴ガ諮問委員會ニ附議セラレルトニ決定スルヤ聯盟ハ
 十七日先ツ米國政府ニ對シ同委員會ニ代表者派遣方ノ招請狀ヲ發シ
 之ニ對シ米國政府ハ前四ノ場合ト同ジ條件ヲ參加ヲ受諾シ、瑞
 西駐米國公使ヲ同委員會ニ出席セル權ニナツタ。次デ諮問委員會
 ハ二十一日從來ノ構成ヲ變更シ、支、獨、濠、四國ヲ招請スルコ
 トニ決定シ、タガ之ハ豫メ英佛始メ其ノ他ノ主要國間ニ打合セガテ、
 即チ支那側ハ理事會ヲ日支問題ヲ再議スル希望ヲ捨
 テ、イガ英佛側ノ肚ハ之ヲ避ケテ極東關係諸國ヲ包含スル諮問委員
 會ニ於テ實際的解決ヲ試ミントスルニアツタノデアアル。

右招請ニ對シ支那及濠洲ハ參加シタガ日本及獨逸ハ參加ヲ拒絕シ
 又、帝國政府ハ二十五日事務總長宛電報ヲ以テ今次事變ノ解決ニ
 關シテハ日支間ノ問題ハ日支兩國間ニ於テ現實ニ即セル公正妥當
 ナ解決方法ヲ發見シ得ルト確信シ居ルガ、帝國政府トシテハ政

外務省

一九三三年設置サレタ諮問委員會ト云フノハ最初十九國委員會委員
 及加奈陀和蘭兩代表ヲ以テ組織セラレ後デ米蘇兩國ガ參加ヲ招請セ
 ラレ米國ノミガ參加シタ委員會デアアル。(前記十九國委員會ハ一九三
 二年三月十一日聯盟總會決議ニ依リ成立シタモノ、總會議長(白)
 並當事國ヲ除ク理事及ヒ總會ノ選舉シタ他ノ六國代表(瑞西、
 エッコスロヴアキア)、「コロンビア」、葡、洪、瑞典)ノ十九名
 ヲ以テ組織セラレタモノデアアル。諮問委員會ハ此前ノ日支紛爭當時
 ハ二十二國デアツタガ、本年度ハ二十三國ナリ俗ニ二十三國委員會ト
 稱セラレテ居ル。

右委員會ノ任務ハ事態ヲ監視シ聯盟規約第三條第三項ニ依リ總會ノ
 任務ノ遂行ニ關シ之ヲ援助シ且聯盟國間並非聯盟國トノ間ニ右目的
 達成ニ關スル行動及ビ態度ノ合致ヲ圖リ又總會カ適當ト思惟スルト
 キニ聯盟ニ報告シ提案ヲ爲スニアリト云フノデアアル。モツト簡單ニ

外務省

三
 諮問委員會ハ二十七日午後會合シタガ勢頭顯維釣ハ日本ノ陸海軍ノ
 行爲ハ明白ナル侵略行爲ヲ日本ノ眞ノ目的ハ支那征服ニアラト難ジ
 聯盟トシテハ少クトモ精神的法律の方面ニ於テ國際法規、條約ノ規
 定、正義人道ノ基本の原則ニ違反スル種々ノ行爲特ニ空襲ヲ誹謗ス
 ルコトカ可能ナルト爲シ、非戦闘員ニ對スル攻撃ヲ制止スルニ適
 當ナル方法ヲ各國政府ニ勸告シ、他方侵略行爲ノ繼續ヲ阻止シ支那
 ノ抵抗ヲ聲援スル爲ノ具体的手段ニ付テ委員會速ニ研究スル必要
 ガアルト述べタガ、^此ニ對シ英國代表「克蘭ボン」ハ支那代表ノ
 提起^ト廣汎ナ問題ニ關スル考慮ヲ留保シタ後、空襲問題ノミハ緊
 急審議ヲ要スルモノナリトシテ委員會ハ即刻意見ヲ表明スベキナル
 英國政府ハ無防備都市ノ空襲ニ對シ恐怖ヲ表明シ委員會ガ即刻之ヲ
 詳議センコトヲ希望スト述ヘ佛國代表「デルボス」瑞典代表「サン
 ドラー」蘇聯代表「リトヴィノフ」ハ夫々發言シテ英代表ノ提案

外務省

治の事業ニ關スル從來ノ對聯盟方針ヲ今ハ改ムヘキ何等理由ヲ持
 タナイカオ遺憾ナガラ諮問委員會ノ招請ヲ受諾スルコトガ出來ナ
 ルトノ趣旨ノ回答ヲシタ。尙伊太利ハ其ノ後開催サレタ諮問委員
 會ノ會合ニ一度モ出席シナカッタ。
 セヨリレモナリ

外務省

支持シテ、其處米委員會ハ空襲問題ヲ他ノ問題ヨリ先キ中議スルコトトナリ議長ト前記四代表ガ決議案ヲ作成スルコトヲオツタ。此ノ決議案ハ委員會デ多少修正サレタ上可決セラレ、聯閣總會ニ廻付セラレ、二十八日全會一致ヲ以テ採擇サレタ。決議全文ハ新聞ニ報載サレ、日本ノ空軍ガ支那ノ無防備都市ヲ爆撃シテ結果トシテ多數ノ子女ヲ含ム無辜ノ人民ノ死傷ヲ生シタコトニ對シ激動ノ念ヲ表明シ且全世界ニ對シ畏怖及暴憤ヲ招來スル右行動ヲ嚴肅ニ非議スルコトヲ趣旨トシタモノデアツタ。

外務省

四
 次ニ諮問委員會ガ爲シタコトハ小委員會ノ設置デアツタ。諮問委員會ハ二十八日ノ午後會合スル等キアツタ。庫西班牙問題等々延期セラレ結果二十九日會合シタ。右會合ハ米國委員ノ「ハリソン」ハ「ハル」國務長官ガ二十八日附ヲ以テ其防禦地域ノ空襲ハ國際法ト人道ノ原則ニ違反スル旨宣言シタコトヲ披露シ、次デ「エクスアドル」代表ハ聯盟ハ國際法ノ蹂躪ヲ阻止シ違反ノ事實ヲ宣言セザルベカラズ少クトモ支那ニ精神的援助ヲ與フベシト述べタ。空襲問題ハ蒸シ返サレ、然レ佛國代表ハ本件ガ複雑ナルコトニ注意シ、委員會ノ任務遂行ノ方法ヲ研究シ決議案ヲ作成スル爲小委員會設置方ヲ提案シタ。

英國代表ハ佛國提案ヲ支持シ、委員會ハ既ニ空襲ヲ糾弾シタ決議ヲ採擇シタガ今後取ルベキ方法トシテ實行不可能ノ案ヲ考慮スルハ不可ヤアル。英國ハ濠洲代表ガ總會ヲ述ベタ關係國會議ノ案ニ他國

外務省

シ小委員會ハ問題ノ全般ニ付研究シ其ノ結果適當ノ結論ヲ抽出スベ
 キナルト述ベタ。
 右提案ニ對シ支那側ハ依然不滿ノ意ヲ示シ英案ノ支那ノ事態審査ト
 云フハ漠然ニ失スルカ「日支紛争ノ結果生ズル事態ノ審査」ト
 改メルコトヲ主張シタ。處英國代表モ之ニ同意シタ。小委員會ノ任務
 權限問題モ支那側修正ヲ加ヘタ。英國提案通りニ決定セタ。
 小委員會構成ニ付テハ議長カ「英、白、英、支、「エクアドル」、
 佛、蘭、波、瑞典、蘇聯十箇國ノ委員ヨリ成ルコトトシ之ニ米國ヲ
 諮問委員會ニ於ケルト同ジ資格ニ於テ參加セシムル提案カ「ソタガ更
 ニ議長「ラトヴィア」代表「ムンテルス」及新西蘭ヲ追加スルコ
 トトナリ議長提案通りニ決定セタ。

外務省

12.9

S 1.1.1.0 - 27

4399

0016

ハ贊成ナラシムル自ラモ贊成スルガ夫レ迄前記小委員會ヲ開催スルコト
 ハ極メテ有益ナラント述ベタ。顧維鈞ハ小委員會設置前ニ諮問委員
 會全體ニ於テ侵略ノ存在ヲ明カニシ且小委員會ニ對スル具體的指針
 ヲ與ヘル必要アリ、小委員會ノ構成ニ付テモ地方的利害關係國ノ
 ミニ極限セラレコトヲ主張シタ。
 小委員會設置ノ點丈ケハ決定サレタガ小委員會ノ任務及ビ構成人員
 ハ次回ノ會合ヲ審議サルルコトトナツタ。
 諮問委員會ハ十月一日會合シタガ議長カ「小委員會ハ諮問委員會
 ニ代位スルモノナラコト」小委員會カ「委員會ニ報告ヲ提出シ委
 員會カ「總會ニ之ヲ提出スルコト」總會開催中ニ報告ヲ作成スルコ
 トノ三點ニ付テ説明ガ「ソタ。茲ニ於テ英國代表ハ小委員會ノ任務
 權限トシテハ「支那ニ於ケル事態ヲ審査シ」之ヨリ生スル總テノ問
 題ニ付テ審議シ」適當ト思考スル凡ユル提案ヲ委員會ニ爲シ得ルコ
 トトスベキコトヲ説イタ。佛國代表ハ議長ト英國代表トノ説ヲ支持

外務省

12.9

S 1.1.1.0 - 27

4398

0015

委員會ハ總會終了前ニ報告ヲ提出スルコト且然ル後引續キ他ノ問題ニ付テ審議スベキモノデアルト諒解スト述べ、支那側提出ノ決議案ハ小委員會ニ審議サレルコトナシタ。

十月一日諮問委員會ニ引續キ小委員會開催サレタガ右決議案ニ對スル態度決定ノ爲ニハ支那側提出ノ文書ノ外ニ義和團議定書、上海停戰協定並日本政府ノ通告其ノ他「アベイラブル」ノ日本側ノ材料ヲモ審查ノ必要アリト云フノヲ聯盟事務局ヲシテテ準備サレルコトニ決定シタ。其處テ事務局ハ早速覺書ヲ作成シタイナルガ其ノ内容ハ大体(1)事件ノ経緯ニ關シ軍事の行動及外交交渉ノ兩方面(2)記述(3)法律關係ニ關シテハ今次事變ト北清事變議定書、九國條約及不戰條約等ノ既存條約トノ關係ヲ記述シタモノナリ。

小委員會ハ二日ノ祕密會議ヲ右覺書ニ關シ種々討議ヲ重ネテ結果其ノ際各國代表カラ提議サレタ各種修正案ヲ綜合シ再起草方ヲ事務局ニ命ジタ。事務局再起草ニ係ル覺書ハ四日小委員會ニ審議サレタガ

外務省

S 1.1.1.0 - 27

4401

0013

支那側ハ議事カ小委員會ニ移ル前ニ諮問委員會ヲシテ日本ノ侵略ノ事實ヲ明白ニ認メシムルニ果シテ十月一日諮問委員會ノ席上決議案ヲ配布シタ。右決議案ノ要旨ハ日本ハ支那海上封鎖ヲ宣言スルト共ニ日本艦隊ハ支那ノ諸港ヲ爆撃シ、日本空軍ハ空爆ノ爲支那領土ニ侵入シ、尙日本ハ紛争ノ平和的解決申入レ就中諮問委員會參加要請ヲ拒絕シ九國條約及不戰條約ノ規定並ニ國際法ノ根本的規律ヲ無視シ戰闘ヲ行フヲ居ルガ右諸事實ハ規約第十條ニ於テ聯盟國ニ對スル外部ノ侵略ノ場合ヲ構成スト云フイデアリ。

右決議案ノ趣旨ニ關シ顧維鈞カ決議案ノ意味ハ甚々簡單テ日本ノ陸海空軍ノ行動ハ疑ナク規約第十條ノ侵略ノ事實ヲ構成スルモノナリ。從ツテ侵略ノ事實ヲ明白ニ認メ之ヲ宣明スル必要アリト説明カアツタカラ一般討議ニ附セラレタ。議長ハ右決議案ハ小委員會ニ移シ他ノ問題ト共ニ審議ニ附スル様キスルコトヲ提議シタ。願ハ小

外務省

S 1.1.1.0 - 27

4400

0017

起草委員會ハ決議案ヲ作成シ小委員會ニ提出シテ。諮問委員會ハ五日ノ會合ニ於テ小委員會カ爾ヲ廻付シテ右決議案ト日支紛争報告書草案ヲ審議シ之ヲ全會一致採擇シテ（波蘭、瑞西棄權、加奈陀留保）。

總會ハ五日諮問委員會カ爾ヲ廻付サレタ前記報告書並ニ決議案ヲ上程審議ニ入リテガ票決ハ六日ニ行ハレ全會一致採擇サレタ（波蘭及暹羅棄權）。

外務省

14

12.9

S 1.1.1.0 - 27

4403

0020

其ノ結果達シテ結論ハ(1)日本ノ支那ニ對スル侵入ノ事實ヲ認メ(2)右ハ日本ノ自衛行動ト認メラレ得オイコト及ビ(3)右ハ九國條約ニ違反スルコトト云フイデアツタ。

小委員會ハ同日夜會合シテ總會ニ提出スベキ提議案ノ討議ニ入リタガ米國代表カ爾總會ハ九國條約締約國ニ對シテ聯盟國ニ對シテ將來適當ナル時期ニ太平洋關係國會議開儀ノ斡旋方ヲ要請スベシトノ提案カアツタ。支那側ハ其ノ茲ニ日本ノ侵略ヲ確認スルコトガ先決問題トシテ。主權ヲ固執シ若シ侵略ヲ確認スルナラバ九國條約國會議ノ件ヲ受諾スルデアロウト述ベタガ之ニ對シ英國代表ハ右侵略ヲ確認スルニ於テハ日本側ノ參加ノ右ニ對シテハ何人モ知シ得ナイ處ナラカ一利益々困難ナラシムルデアロウト述ヘテ支那側ノ主張ニ極力反對シタルオ英支兩國提案ヲ繞ツテ議論紛糾タ。結局議長、英、佛、蘇聯、濠洲及支那各代表ヨリ成ル起草委員會ヲ任命シ何等力適當ナル「フォーミュラ」ヲ發見スルコトヲナツタ。

外務省

13

12.9

S 1.1.1.0 - 27

4402

0019

居リ、右ハ現存法律文書又ハ自衛權ノ何レニ依ルモ是認ガ許サレオ
 コト及九國條約及不戰條約ニ基ク日本ノ義務ニ違反スルモノ
 見ト斷ジテ居ル。

第二報告書ハ日本ノ執レル行動ガ其ノ條約上ノ義務ノ違反デアツテ
 之ヲ是認スルコトガ出來ナイコトヲ示シタモノデアル。今次ノ紛争
 ハ日本ノ條約義務違反ヲ包含シテ居ルカキ本來日支兩國政府間ノ直
 接ノ方法ヲ解決セラルベキモノデアナク事態ノ全般就中規約、國際法
 及現存諸條約ノ規定ニ違據シテ平和ヲ再建セシムルニ適當ノ手段ヲ
 検討スル必要ガアル。故ニ委員會トシテハ九國條約ニ依リテ聯盟國
 又九國條約締約國アル諸國ヲ招集シテ協議ヲ開始セシメ、他方
 委員會ハ一ヶ月ノ期限内ニ更ニ會合スルコトトシ、此ノ間總會ハ支
 那ニ對シテ精神的支持ヲ表明シ、聯盟國ニ對シテハ支那ノ抵抗力ヲ弱
 ムル様ニ處アル一切ノ行動ヲ差控ヘ且支那ニ對シテ與フルコトガ
 出來ル援助ノ程度ニ關シテ考慮スルコトヲ勸奨スルコトヲ要請シタモ

外務省

S 1.1.1.0 - 27

4405

0022

諸問委員會及總會ニ於テ採擇セラレタ前記小委員會報告ハ第一及第
 二ト別レテ居ル。第一報告書ハ四部ニ分タレ第一部ハ事變ノ經緯
 ヲ記シ第二部ハ法律關係ヲ述べ、現在日支間ニ問題トナルメハ北
 清事變議定書、九國條約及不戰條約ノ三ナリトシ、其ノ他日支官
 憲ノ間ニ地方的ニ締結セラレタ協定アルカ是等ノ協定ハ右三條約
 ノ規定ヲ變更又ハ失効セシムルコトガ出來ナイ旨ヲ記シテ居ル。第
 三部ハ事變ノ條約上ノ解釋ヲ爲シテ居ルカ日本軍ノ戰鬪遂行ハ一
 見シテ支那ノ主權、獨立及領土の保全ヲ尊重スル義務並ニ支那トノ
 紛争ハ其ノ性質及起源ノ如何ヲ問ハズ其ノ解決ヲ平和的手段ニ依リ
 テノミ求ムベシトスル義務ニ抵觸シテ居ルコトヲ指摘シ、第四部ハ本
 紛争ノ根抵及最初ノ敵對行為ノ勃發ヲ導ケル事件ニ關スル日支兩國
 ノ見解ガ異ルコトハ明白デアリ。委員會ハ提出セラレタ事實ヲ検討シ
 タ結果日本ノ軍事行動ハ本紛争ヲ惹起セシメタ事件ト權衡ヲ失シテ

外務省

S 1.1.1.0 - 27

4404

0021

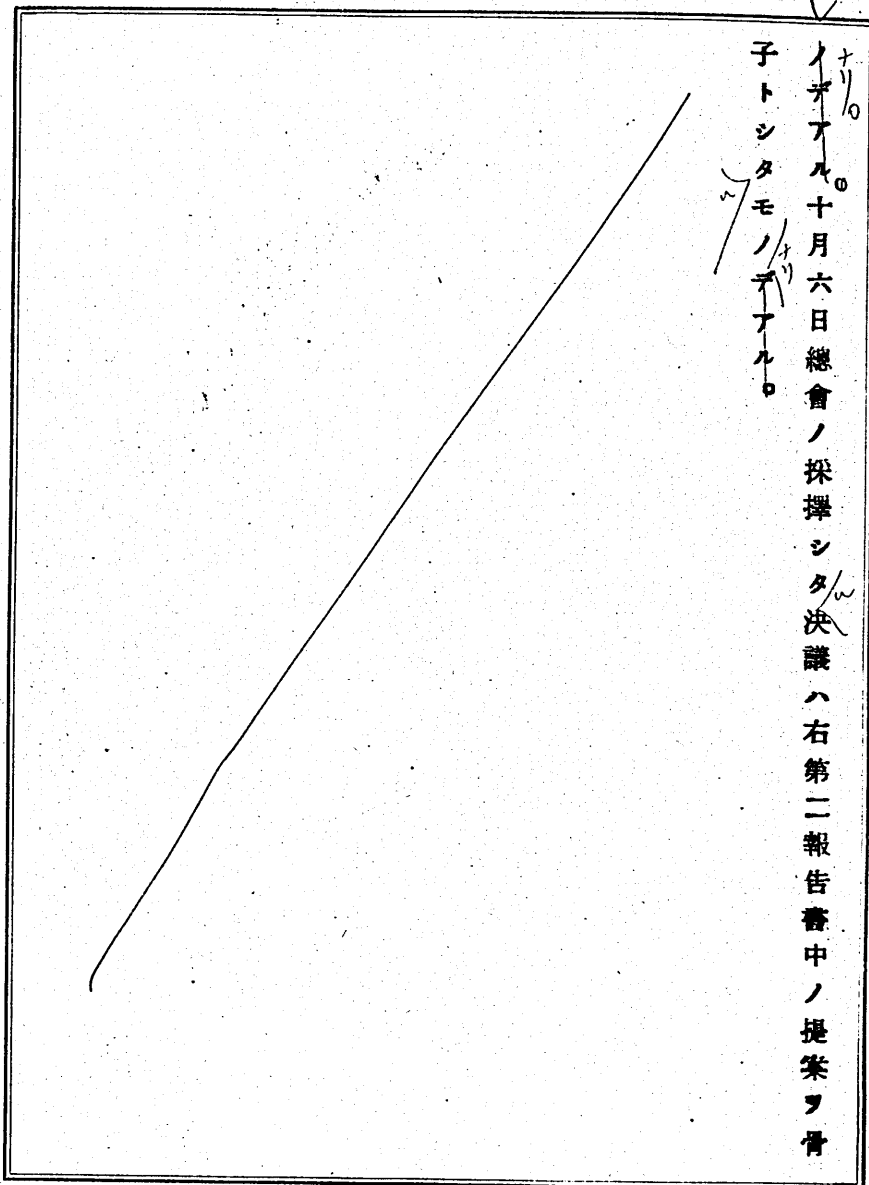
七
 日支紛争問題ハ右経過ヲ辿ルテ九國條約會議ニ付議セラルルコトト
 ナリタトデアアルガ以上ノ経緯ヲ同會議ノ招集ハ始メテ英國ノ目論
 ヲ居ルコトデアアルコトガ觀取サレルデアラウ。今同「ジュネー
 ヴ」會ニ番活躍シタルハ英國支那側ノ提訴ヲ先ツ諮問委員會ニ
 付議シ、更ニ之ヲ九國條約會議ニ付持テ行ハルデアアル。
 英國ハ支那側ガ日本ノ空襲ヲ誹議シタ決議案ヲ提出スルヤ之ヲ支持
 シ成立セシメタ。又ハ世界ノ輿論ニ訴ヘルニ最モ效果ガアツテ米國
 ノ靜觀的態度ハガラツト變リ「ルーズベルト」大統領ノ市俄古ノ演
 説トナリタ。
 支那側ハ九國條約ノ發動ハ始メテカテ希望シテ居ルコトデアアルガ其ノ
 前ニ聯盟者日本ヲ侵略者トシテ烙印ヲ押シテ黃ヒタカツタデアアル
 然シ英國トシテハ九國條約會議ニ日本側ノ参加ヲ要望シテ居ル
 事カラ支那側ヲ壓ヘテ單ニ「侵入者」トシテ報告書ニ記載スルニ止
 マルコトナリシ。

外務省

S 1.1.1.0 - 27

4407

0024



ノチアル。十月六日總會ノ採擇シタ決議ハ右第二報告書中ノ提案ヲ骨
 子トシタモノデアアル。

外務省

S 1.1.1.0 - 27

4406

0023

メ決議ニハ此ノ點ニ觸ルコトヲ避ケタメザアル。英國ハ九國條約會議招集ニ付テモ最初濠洲ノ「ブルース」代表ヲ第一線ニ立タシテ活躍サセ、總會ヲ太平洋關係國會議問題ヲ提議セシメ又諮問委員會ニ於テハ米國代表ヲ提案セシメタリ。右ノ如ク今度日支紛争討議ニ於テハ英國ガ始メ「リード」シテ居リ、佛國ヲ始メ他ノ主要國ハ之ニ追隨シタ態デアツタ。

茲ニ注目スベキハ小國ノ態度デアアル。前同ノ事變ニ於テハ小國側ハ聯盟擁護ノ建前ヲ躍起トシテ大國側ヲ引摺クタリ。然レテモ小國側ハ聯盟擁護スベク餘リニ無力化シタ故カ今次事變中終始極メテ消極的ノ態度ヲ取り英佛側ニ追隨シテ居リ。

外務省

S 1.1.1.0 - 27 4408

0025

設置

日支紛争諮問委員會ノ構成及措置

諮問委員會ハ一九三三年二月二十四日聯盟總會採擇ノ決議（附屬第一）ニ基キ設ケラレタルモノニシテ最初十九國委員會委員（註）及ヒ加奈陀、和蘭、兩代表ヲ以テ組織セラレ米、英、法、中、日、露、印、比、南、西、葡、諸國ヲ招請シ從ヒ之ニ參加シタリ

構成

（註）十九人委員會ハ一九三二年三月十一日聯盟臨時總會採擇ノ決議ニ依リ設置セラレタルモノニシテ總會議長（白）並ニ兩當事國ヲ除ク十二國理事（英、佛、伊、獨、西、巴、愛、「グアテマラ」、諸、波蘭、秘、「ユーゴスラヴィア」）及ヒ秘密投票ニ依リテ總會ノ選舉シタル他ノ六國代表（瑞西、致、「コロンビア」、葡、洪、瑞典）ノ十九名ヲ以テ構成セラレタリ

右委員會ハ現在「二十三人委員會」ト稱セラレ左ノ國ノ代表ヨリ成ル

白ノ議長、「ボリヴィア」、英、智、「エクアドル」、南、佛、

外務省

S 1.1.1.0 - 27 4409

0026

任務

524

伊「ラトヴィア」、新西蘭、波蘭、羅、瑞典、^{イラ}蘇聯（以上十四理事國一九三七年五月現在）
 瑞西、致、「コロンビア」、葡、洪（一九三二年三月十一日聯盟總會採擇）ノ決議ニ基キ設置セラレタル所謂十九人委員會委員ニ選舉セラレタル國（加奈陀、和蘭、米（一九三三年二月二十四日聯盟總會採擇ノ決議ニ基キテ參加シタル國））
 右委員會ノ任務ハ專斷ヲ監視シ聯盟規約第三條第三項ニ依リ總會ノ任務ノ遂行ニ關シ之ヲ援助シ且ツ聯盟國間竝ニ非聯盟國トノ間ニ右目的達成ニ關スル行動及ヒ態度ノ合致ヲ圖リ且總會カ適當ト思惟スルトキニ聯盟ニ報告シ提案ヲ爲スニアリ、
 諮問委員會ハ「イーマンス」議長ノ下ニ二月二十五日第一回ノ會合ヲ開キ前顯總會決議ニヨリ米蘇二國ニ招請ヲ發シタル處米國ハ三月十一日附回答（A. (Ext.) 39. 1933. VII.）ニ於テ承諾シ來リ委員會ノ一員トシテ參加困難ナルモ投票ナシニ討議ニ參加スル爲メ在瑞西公

外務省

21

12.7

S 1.1.1.0 - 27

4410

0027

525

「ウイルソン」氏ヲ任命スル旨ヲ傳へ、同時ニ華府ニ於テ聯盟トノ協力方針ヲ示セル一聲明ヲ發表シタリ（附屬書二）蘇聯ハ三月七日人民外交委員長「リトヴィノフ」氏ヨリ回答（A. (Ext.) 38. 1933. VII.）ヲ寄セ參加ヲ拒絕シタリシガ、聯盟ノ行動ニハ贊意ヲ表シ出來得ル限リ協力スル旨ヲ通告シ來レリ、西國ノ回答ヲ得テ三月十五日漸ク第二回會合ヲ開ク運ビニナリタリ

外務省

22

12.7

S 1.1.1.0 - 27

4411

0028

小委員會
ノ設置

526

諮問委員會ハ三月十五日第一回會合ニ幹事「イーマンス」氏ガ議長
就任ヲ辭退シタリシ爲メ諾威代表「ランゲ」氏ヲ議長ニ選任シ(一)極
東武器輸出禁止及(二)滿洲國不承認ノ兩問題ヲ審議スルコトナリ、
第一ノ問題ヲ審議スル爲メ十一ヶ國代表(白、英、致、佛、獨、伊
和、諸、西、瑞典、瑞西)ヲ以テ小委員會ヲ組織シ、第二ノ問題ヲ
審議スル爲メ十二ヶ國代表(英、佛、獨、愛、伊、墨、和、諸、蘭、
西、瑞西、土)ヲ以テ小委員會ヲ組織シタリ(其後三月二十八日ノ
諮問委員會ニ於テ加奈陀ハ第二小委員會ニ加ハリタリ)米國ハ右二小
委員會ニ對シ代表者ノ參加方ヲ招請セラレタリ(註)

(註) L. N. O. J. Sp. Supp. No. 112. P. 100.

外務省

S 1.1.1.0 - 27

4412

0029

滿洲國不
承認措置
ニ關スル
同章

527

諮問委員會カ實際ニ活動ヲ開始シタリシハ三月二十七日日本政府カ
聯盟脫退ノ通告ヲ爲シタル後ナリトス第一小委員會ハ三月二十八日
會合シ武器禁輸問題ノ實際ニ適用セラレタル事例ヲ研究シ各國政府
ニ意見ヲ求ムルコトニ決定シ、第二小委員會ハ同日會合ニテ滿洲國
不承認問題ニ關シ各國ニ意見ヲ求メ其ノ回答ヲ徵スルコトト決定シ
タリ(註)

(註) (A. (F.N.O.) 43. 1933. III. L. N. O. J. Sp. Supp. No. 113. P. 2)

第二小委員會ハ其ノ後五月十日及六月二日ノ二回會合シ同章 C. K.
1/7. 1933. VII. ヲ作成シ之ヲ同月七日聯盟國及ヒ米蘇二國ノ政府
ニ通達シタリ(附屬書三)右同章ニ依レハ諮問委員會ハ前項二月二
十四日ノ滿洲國不承認ニ關スル決議ノ趣旨ヲ貫徹スル爲メ一定ノ措
置ヲ採ルコト必要ナリト認メ、滿洲國ノ國際協定ニ對スル參加、郵
便及切手、滿洲國通貨ノ國際的不承認領事ノ地位、一九二五年及一
九三一年ノ條約ノ下ニ於ケル阿片及麻藥輸出入許可制度ノ適用等ノ

外務省

S 1.1.1.0 - 27

4413

0030

滿洲國不承認指擧ノ要旨

諸問題ニ關シ意見ヲ述ベタルモノナリ
 委員會ノ意見ヲ要約スレバ左ノ如シ
 (一) 滿洲國ノ國際協定加入問題ニ付テハ各國ハ滿洲國ノ加入ヲ妨グル一切ノ措置ヲ執ルコト、其ノ措置ハ條約ノ性質ニ依リテ異ル
 (二) 郵便ニ付テハ既ニ一九三二年七月支那ヨリ萬國郵便聯合ニ對シ滿洲ノ郵便事務ハ一時中止シタルコト、滿洲國政府發行ノ切手ハ有效ト認ムベカラザルコトヲ通告シアリタル處委員會モ亦右問題ガ起リタル場合ノ阻止措置ヲ提案ス
 (三) 通貨ニ關シテハ對外爲替市場ヲ有スル國ハ滿洲國貨幣ニ對シ公定相場ヲ建テザル様一切ノ努力ヲ爲ス

外務省

12.7

S 1.1.1.0 - 27

4414

0031

(四) 外國人ガ滿洲國ヨリ利權又ハ地位ヲ受クル問題ニ付テハ右ノ權利及ヒ地位ノ獲得ヨリ生ズル特殊ノ危險性ニ關シ自國民ノ注意ヲ喚起スルノ望マシキヤ否ヤハ各國ノ決定スベキトコロナリトス
 (五) 旅券ニ付テハ各國ハ滿洲國政府ニ屬スル機關ヨリ發行サレタル文書ヲ旅券ト認ムルコトヲ得ズ
 (六) 領事ニ付テハ右ハ政府ニ對スル通報及在留民保護ノ任務ヲ有スルモノナルガ故ニ聯盟國ハ滿洲國領事ヲ設クルコト差支ヘナキモ滿洲國ヲ滿洲ノ正當ナル政府ト認ムル宣言ト諒解セララルガ如キ行動ハ一切之ヲ採ラザルヨウ各國ハ其ノ在滿領事ニ訓令スルコトヲ勸告ス
 (七) 阿片問題ニ付テハ一九二五年「ジュネーヴ」阿片條約ニ違反スル目的ヲ以テ滿洲國ニ輸入スルニアラザルコトヲ確實ニ證明スル輸入許可證ノ提出セラルルニアラザレバ政府ハ滿洲國ヘノ阿片其他ノ麻藥類ノ輸出申請ヲ許可セザルコトヲ勸告ス

外務省

12.7

S 1.1.1.0 - 27

4415

0032

右四章ニ
對スル同
答

530

一九三三年十一月八日事務總長ノ發表スル處ニ依レハ右四章ニ對シ
同答シタリシ政府ハ十一國ニ過ギザリキ諮問委員會ニ參加シタル政
府ニ對シテハ事務總長ハ其ノ同章ニ於テ「貴國政府ハ本同章ヲ作成
シタル諮問委員會ニ出席サレタル故委員會ハ貴政府カ反對ノ旨ヲ通
告セザル限り其ノ關係スル限りニ於テ貴政府ハ勸告サレタル措置ヲ
採擇サレルベキモノト推定ス」ト述べ居レル處諮問委員會參加國政
府ニシテ同答シタルモノハ英、墨及米三國ニ過ギズ、同委員會ニ參
加セザル聯盟國ニシテ同答シタルモノハ玖馬、「ヴェネズエラ」、
「ハイチ」、「コロンビア」、「ニカラグア」、印度、「シヤム」
ノ七國ナリ同委員會ニ參加セザル非聯盟國ニテ同答シタルモノハ埃
及ノミナリキ（同答要旨 Q. 630. 71. 298. 1933. VII. ）

外務省

12.7

S 1.1.1.0 - 27. 4416

0033

531

附屬書

- (一) 一九三三年二月二十四日聯盟總會採擇決議
(L. N. O. J. Sp. Supp. 70. 112. P. 24.)
- (二) 米國政府同答及聲明
同年三月十一日附「ハル」國務長官同答
(A. (Ext.) 39. 1933. VII.)
- (三) 同年六月十四日附事務總長同章 (L. N. 117. 1933. VII.)

外務省

12.7

S 1.1.1.0 - 27. 4417

0034

REEL No. A-0225

アジア歴史資料センター

ル次第ナリ
 支那政府カ日支事變ヲ聯盟ニ提訴シタル^ル経緯竝ニ右ニ對スル聯盟
 ノ措置ヲ摘記スレハ左ノ如シ

0036

S 1.1.1.0 - 27 4419

諮問委員會
 召集事情

日支紛争諮問委員會ノ事業 (一)
 九月十三日支那政府ハ日支事變ヲ聯盟ニ提訴、十四日理事會ハ之ヲ
 其ノ議題ニ追加、十六日非公開會議ニ於テ一九三三年二月二十四日
 日支紛争ニ關スル臨時總會ノ決議ニ依リ設置セラレタル諮問委員會
 ニ付託スルコトニ決定シタリ
 當初聯盟トシテハ日支事變ニ關シ支那ノ提訴アリタル以上何等カノ
 措置ヲ執ラサルヘカラス主要國ハ支那提訴ノ取扱振リニ當惑シ居リ
 タル處九月十四日夜「イーデン」及「デルボス」ハ聯盟事務總長「
 アブール」ト協議ヲ擬ラセル結果成ルヘク問題ヲ荒立テス殊ニ第十
 七條ノ適用ヲ避ケンカ爲一九三三年ノ諮問委員會ニテ問題ヲ審議ス
 ルコトニ意見一致シタル^ル如シ、仍^ルテ本件ハ理事會ノ公開會
 議ニ上程スルコトトナリ居リタルモ十六日午後ノ理事會ハ非公式會
 議ニ於テ之ヲ審査シタル結果事務總長ヲシテ近日中ニ諮問委員會ヲ
 召集セシメ同委員會ヲシテ支那提訴ヲ審議セシムルコトニ決定シタ

條約局長

は

0035

17

S 1.1.1.0 - 27 4418

八月三十日
支那代表
盟ニ覺書
提出

支那聯盟
正式提訴

534

一 支那政府ノ聯盟提訴
國際聯盟支那代表^{何傑才}ハ八月三十日聯盟事務局ニ對シ日支事變ニ
關スル覺書ヲ提出シ之ヲ聯盟國政府ノミナラズ一九三三年二月二十
四日日支紛争ノ際任命セラレタル米國ヲ含ム諮問委員會參加國政府
ニ對スル通告方ヲ要請シタリ右覺書ハ蘆溝橋事件以後ノ諸事實ヲ記
載シ居ルト共ニ支那ハ日支兩國間ニ於ケル一切ノ紛争ヲ平和的ニ解
決スル決意ヲ有スルモノナルガ、之ニ反シ日本政府ハ聯盟規約「ケ
ロッグ」不戰條約、九國條約等ノ^ハニシテ國際的誓約ヲ蹂躪シ支那
侵略ノ野心ヲ有スルモノナルコトヲ力説シ居レリ
右覺書ノ提出ハ聯盟理事會ガ九月十日ヨリ開催セララルニ鑑ミ理事
國タル支那ハ當然之ニ提訴スルモノト取沙汰セラレ居リタル^ハ成^ル果^シ
テ十二日ニ至リ支那聯盟首席代表顧維鈞ヨリ事務總長宛書翰ノ形式
ヲ以テ日支紛争ヲ聯盟ニ提起シ同時ニ前顯八月三十日ノ覺書ノ補足
トシテ日本側ノ亡狀ヲ敘述セル「ステートメント」ヲ提出セリ

外務省

31

12.9

S 1.1.1.0 - 27

4420

0037

支那政府
宛書翰ノ要
旨

支那代表
部ノ宣言
書公表

535

右事務總長宛書翰ノ要旨ハ先ヅ日本ノ侵略ハ規約第十條、第十一條
ニ該當スルモノニシテ聯盟^全體ノ利害ニ關スルモノナリト述べ具體
的事實ニ付テハ前顯覺書（八月三十日）及「ステートメント」（九月
十二日）ニ譲リタル後日本ノ聯盟ニ對スル地位竝ニ支那ニ於ケル行
動ニ鑑ミ規約第十七條モ亦適用アリト思考ストテ規約第十條、第十
一條及第十七條ノ適用ヲ以テ理事會ガ是等規定ノ下ニ事態ニ應ズル
必要ナル手段ヲ執ランコトヲ要請シタルモノナリ
在壽府支那代表部ハ同時ニ新聞記者團ニ對シ宣言書ヲ公表セルガ右
ハ所謂日本ノ侵略的政策ヲ敘述シ非戰鬪員ノ殺傷、財産ノ破壊、支
那沿岸ノ封鎖等所謂我方ノ不法行為ノ事例ヲ列舉セル後右事態ガ支
那ノ獨立ヲ脅威スルノミナラズ世界ノ平和攪亂ニ迄進展スルノ危険
アルニ鑑ミ支那政府ハ之ヲ聯盟ニ提起シ其ノ公正ナル措置ニ期待ス
ルニ決シタルガ支那政府ハ亞米利加其ノ他ノ非聯盟國ニシテ極東ノ
平和再建ニ熱心ナル諸國ガ聯盟ト協力シテ日本ノ侵略行為ヲ終止セ

外務省

32

12.9

S 1.1.1.0 - 27

4421

0033

537

聯盟總會
ニ於ケル
支那代表
ノ演說要
旨

次テ支那側ハ十五日聯盟總會席上顧維鈞ヲシテ要旨左ノ如キ演說ヲ爲サシメ日支紛争ニ關スル支那側ノ聯盟提訴ノ理由ヲ聲明シタリ、顧ハ日本ノ武力侵略ニ依リ形成セラレタル極東ノ重大時局ニ付注意ヲ喚起ストテ初メ非戦闘員ノ被害狀況、病院學校ノ破壞、外國人ノ被害等ヲ哀訴的ニ述ヘ、事件ノ經過ニ付支那側一流ノ説明ヲ加ヘタル後日本ノ大陸ニ對スル領土侵略政策ハ飽ク所ヲ知ラス遂ニハ外國ノ權益モ悉ク擧逐セラレベシトテ諸外國ノ輿論ニ訴ヘ歐洲ト極東ノ狀況ハ相關關係ニアリ世界ノ平和ハ不可分ナリ須ク「ニヨン」會議ノ速ナル成功ノ例ニ倣ヒ何事カ爲スベシ、事件ハ目下理事會ニ提起セラレタルニ付理事會自ラ何事ヲ爲スヤ若ハ總會ニ之ヲ移牒スルヤ將又之ヲ諮問委員會ニ懸クルヤハ理事會ノ決定スル所ナリト述ヘタリ

外務省

34

12.9

S 1.1.1.0 - 27

4423

0040

536

シムルニ協力セシムコトヲ希望スト言フニ在リタリ

外務省

33

12.9

S 1.1.1.0 - 27

4422

0039

REEL No. A-0225

0205

アジア歴史資料センター

理事會ノ
審議及決
定

議長提案

538

ニ支那提訴ニ對スル聯盟ノ措置
前記支那側ノ日支紛争提訴ニ付テハ聯盟理事會ハ十四日午後ノ非公
開會議ニ於テ本件ヲ議題ニ加フルコトヲ決定シ、十六日午後ノ理事
會ハ非公開會議ニ於テ支那提訴ヲ審査シタル結果事務總長ヲシテ近
日中ニ諮問委員會ヲ召集セシメ同委員會ヲシテ支那提訴ヲ審議セシ
ムルコトニ決定セリ

聯盟理事會ハ十六日午後五時非公開會議終了後理事會ノ議事ヲ詳述
セル「コンミユニケ」ヲ發表シタルガ、右ニ依レバ議長ハ最初諮問
委員會カ設置セラレタル時ノ決議條項ニ依レハ同委員會ハ事態ノ推
移ヲ注視シ規約第三條第三項ノ下ニ於ケル義務ノ遂行ニ付總會ヲ援
助シ且同一ノ目的ヲ以テ聯盟國相互間並非聯盟國ニ對スル行動及態
度ニ付聯盟國ヲ援助スルコトヲ任務トシタルモノナリト説明シタル
後以上ノ諸委託條項ニ鑑ミ議長ハ

(一) 支那代表ノ同意ヲ條件ニ理事會ハ聯盟事務總長ニ對シ近ク諮問

外務省

12.9

S 1.1.1.0 - 27 4424

0041

議長提案
承認

支那側ノ
留保

539

委員會ヲ招請シ支那代表ノ言及シタル事態ヲ考究スル爲必要ナル
手段ヲ講スル様要請スヘキコト

(二) 更ニ事務總長ハ諮問委員會參加各國ニ對シ前顯願ノ演說内容並
ニ本日ノ理事會ノ議事内容ヲ通達スルコト

ラ適當ト思惟スル旨ヲ述ヘタリ

茲ニ於テ支那代表ハ支那政府ノ提訴ハ先ツ諮問委員會ニ移牒サルル
カ支那政府トシテハ必要ナル場合合理理事會ニ對シ規約第十一條、第十
七條ノ各條ニ基キ行動スル一切ノ權利ヲ留保ストノ了解ノ下
ニ議長ノ提案ヲ受諾スル旨ヲ答フル處アリタリ

議長ハ以上支那代表ノ聲明ヲ了承シ且理事會カ右提案ヲ承認シタル
モノト思惟スル旨ヲ宣明シタリ

外務省

12.9

S 1.1.1.0 - 27 4425

0042

REEL No. A-0225

0225

アジア歴史資料センター

米國政府
ヲ招請

540

十七日聯盟ハ米國政府ニ對シ諮問委員會ニ代表派遣方ノ招請狀ヲ發シタリ、右ニ對シ米國出席者壽府滯在中ノ瑞西駐劄米國公使ヨリ事務總長宛二十日附ヲ以テ回答シタルガ右ニ依レバ

(一) 在瑞西米國公使ハ諮問委員會ノ會合ニ一九三三年ノ場合ト同シ資格及目的ヲ以テ出席スベシ

(二) 米國政府ハ諮問委員會ニ與ヘラレタル任務ニ付通報ヲ受クル迄ハ如何ナル範圍迄有效ニ協力シ得ルヤ言明シ得ス

(三) 米國政府ハ其ノ立場ニ付テノ誤解ヲ避ケンカ爲聯盟國タル地位ヨリ生スル責任ハ之ヲ負擔シ得サルコトヲ明カニセサルヲ得ス

(四) 聯盟國ハ聯盟所定ノ手續ヲ履ミ其ノ方針ヲ決定スヘシト想像セラルル處米國政府ハ紛争ノ平和的解決ヲ計ルニハ各國間ノ協定ニ依ルヘシトノ原則ヲ信スルモノナルヲ以テ聯盟ノ行フヘキ具體的提案ハ慎重考慮スル用意アルモ假設的問合トシテ提出セラレヘキ政策乃至提案ニ對シ意見ヲ述フルノ用意ヲ有セス

ト云フニ依リタリ

外務省

S 1.1.1.0 - 27 4426

0043

第一回會
合
四國招請

四國招請
事情

帝國政府
ノ回答

541

(三) 諮問委員會ニ於ケル日支紛争審議諮問委員會ハ二十一日會合議長トシテ「ラトビヤ」代表「ビュンテルス」ヲ推シタル後英代表ノ提議ニ從ヒ日、支、獨及佛代表ノ提議ニ從ヒ濠洲ヲ招請スルコトニ決定シタリ、依テ委員會ハ右四箇國ニ對シ本委員會ノ事業ニ參加ヲ求ムル趣旨ニテ招請狀ヲ發センコトヲ事務總長ニ命シタリ、尙同委員會ハ右諸國ノ回答ヲ待ツ爲次回會合ヲ二十七日迄延期セリ

諮問委員會從來ノ構成ヲ變更シテ日、支、獨、濠四國ヲ招請スルニ決定シタルハ英佛等主要國間ニ打合アリタル結果ニ依ルモノニシテ支那ハ理事會ニ於テ日支問題ヲ再議センコトヲ希望スルモ英佛ハ右支那ノ要望ヲ避ケテ極東關係諸國ヲ包含スル諮問委員會ニ於テ實際的解決ヲ試ミントスル底意ニ出テタルモノノ如シ

右諮問委員會ノ決定ニ基キ二十一日附事務總長「アブノル」ヨリ廣田外務大臣宛電報ニ於テ帝國政府ノ諮問委員會事業ニ參加セラレン

外務省

S 1.1.1.0 - 27 4427

0044

コトヲ招請シ來リタルニ對シ帝國政府ハ二十五日附「アブノル」宛
電報ヲ以テ「今次事變ノ解決ニ關シテハ帝國政府ハ其ノ從來中外ニ
披瀝シ來レル如ク日支間ノ問題ハ日支兩國間ニ於テ現實ニ即セル公
正妥當ナル解決方法ヲ發見シ得ヘシトノ確信ヲ堅持スルモノニシテ
從テ帝國政府トシテハ從來國際聯盟ノ政治的事業ニ對シ執リ來レル
其ノ方針ヲ今日改ムベキ何等理由ヲモ有セザルヲ以テ遺憾乍ラ諮問
委員會ノ招請ヲ受諾スルヲ得ズ」ト回答スル所アリタリ
七日午後會合シ劈頭顧維鈞ハ日本ノ陸海軍ノ行爲ハ明白ナル侵略行
爲ニシテ日本ノ眞ノ目的ハ支那征服ニアリト難ジ、聯盟トシテハ少
クトモ精神的法律的方面ニ於テ國際法規條約ノ規定、正義人道ノ基
本の原則ニ違反スル種々ノ行爲（特ニ爆撃）ヲ誹議スルコト可能ナ
リト爲シ、聯盟ハ人道的任務ヲモ負擔スルモノナル處此ノ方面ヨリ
見ルモ少クトモ之ヲ糺彈スルト共ニ非戰闘員ニ對スル攻撃ヲ制止ス

外務省

40

S 1.1.1.0 - 27

4428

0045

ルニ適當ナル方法ヲ各國政府ニ勸告スヘキナリ、尙侵略行爲ノ繼續
ヲ阻止シ支那ノ抵抗ヲ聲援スル爲ノ具體的行爲トシテ何等カ適當ノ
手段アルヘキ處是等ニ付テハ速ニ委員會ニ於テ研究スベキモノト認
ムト聲明シタリ
茲ニ於テ「クランボン」(英)ハ顧維鈞ノ提起シタル廣汎ナル問題
ニ關スル考慮ヲ留保シタル後空襲問題ノミハ緊急審議ヲ要スルモノ
ニシテ委員會ハ即刻意見ヲ表明スヘキナリ、英國政府ハ無防備
都市ノ空襲ニ對シ恐怖ヲ表明シ、委員會カ即刻之ヲ非議センコトヲ
希望ス委員會ハ本件ニ關スル輿論ヲ考慮セサルヘカラスト述ヘ「デ
ルボス」(佛)ハ佛國政府ハ曩ニ空襲ヲ認メサル旨表明シタルカ今
ヤ委員會ト共ニ嚴肅ナル糺彈ヲ表明スルコトニ贊成スルノ用意アリ
ト述ヘタリ
「サンドラー」(瑞典)ハ前記ニ代表ノ述フル所ニ贊成ナリト述ヘ
「リトビノフ」ハ英代表ノ提案ニ贊成シタル後委員會ノ決議カ總會

外務省

40

S 1.1.1.0 - 27

4429

0046

決議案ノ作成

決議全文

決議總會ニテ採擇

544

ニ参加セル總テノ國竝ニ世界ノ文明國ニ採擇セラレンコトヲ望ムト述ベタリ

議長ハ先ツ空襲ノ問題ヲ議シ他ノ問題ハ後ニ議スルコトトスヘキヤシ諮リ其ノ通り決定スルテ議長竝ニ前記四代表ニ於テ決議案ヲ作成シ委員會ハ多少修正ノ上滿場一致之ヲ通過セリ

「諮問委員會ハ日本空軍ノ支那無防備都市爆撃問題ニ付緊急ナル審議ヲ行ヒタル之等ノ爆撃ノ結果トシテ多數ノ子女ヲ含ム無辜ノ人民ノ死傷ヲ生シタルコトニ對シ激動ノ念ヲ表明シ且全世界ニ對シ畏怖及公憤ヲ招來スル斯ル行動ニ對シテハ何等辯明ノ余地ナキコトヲ宣シ、仍テ委員會ハ右行動ヲ嚴肅ニ非議ス」

右決議ハ聯盟總會ニ廻付セラレ二十八日午前ノ會議ニ於テ全會一致ヲ以テ採擇セラレタリ

外務省

12.0

S 1.1.1.0 - 27

4430

0047

第三次會合小委員會ノ任命

經過概要

佛ノ小委員會設置提案

英ノ支持

545

條約局長

小委員會ノ設置

諮問委員會ハ二十八日午後開會ノ答ナリシ處第六委員會西班牙問題ノ審議カ紛糾シ時間ナキ爲且疫病防遏ニ關スル援助問題ヲ議スヘキ對支技術援助理事委員會モ準備整ハサル爲延期セラレ居リタル處二十九日午後會合シ公開會議ニ於テ小委員會ヲ設置スルコトニ決定セリ

右會合ニ於ケル經過概要ヲ記セバ先ツ「ハリソン」(米)ハ「ハル」國務長官カ二十八日附ヲ以テ無防禦地域ノ空爆ハ國際法ト人道ノ原則ニ違反スル旨宣言セルコトヲ披露シ、「エクスアドル」代表ハ聯盟ハ國際法ノ蹂躪ヲ阻止シ違反ノ事實ヲ宣言セサルヘカラス少クモ支那ニ精神的援助ヲ與フヘント述ヘ佛國代表ハ本件カ複雜ナルコトヲ注意シ委員會ノ任務遂行ノ方法ヲ研究シ決議案ヲ作成スル爲小委員會設置方ヲ提案シタリ

英國代表ハ佛國提案ヲ支持シ、委員會ハ既ニ戰爭手段ノ或モノヲ裁

外務省

12.0

S 1.1.1.0 - 27

4431

0048

支那側ノ主張

彈セル決議ヲ採擇セルカ今後取ルヘキ方法トシテ委員會カ實行不可能ノ案ヲ考慮スルハ不可ナリ、濠洲代表カ總會ニ於テ述ヘタル關係國會議ハ案ニ對シテハ英國ハ他國カ贊成ナラハ自ラモ贊成スヘキカ之ニ至ル迄前記小委員會ヲ開議スルハ甚タ有益ナルヘク小委員會ニ對シテハ諮問委員會ト同シ任務權限ヲ與フヘキナリト述ヘタリ
右ニ對シ顧維鈞ハ委員會ノ爲スヘキコトトシテハ侵略ニ關スル一般的ノ問題ト具體的ニ侵略ヲ制止シ被侵略者ニ援助ヲ與フル問題トアリ、小委員會設置案ニハ反對セサルモ其ノ前ニ委員會全體ニ於テ侵略ノ存在ヲ明カニシ且小委員會ニ對スル具體的指針ヲ與フル要アルヘク小委員會ノ構成ニ付テハ地方的利害關係國ノミニ權限セサル概主張シタリ

546

外務省

12.9 S 1.1.1.0 -27

4432

0049

加奈陀ノ態度

小委員會ノ權限、任務

議長ノ意見

547

加奈陀代表ハ小委員會設置ニ付テハ何等訓令ヲ所持セサル處將來ノ一般的訓令ノ意味ハ寧ロ否定的ナリトテ棄權スヘキコトヲ聲明シタリ
議長ハ小委員會ニ對スル委員事項ト其ノ人名ハ次回ニテ披露スヘキコトトシテ兎モ角其ノ設置ノ點丈ケ茲ニ決定スヘシト述ヘタル處、支、白、濠、蘇四國代表ノ間ニ意見ノ交換アリタル後結局三十日ノ會議ニ於テ小委員會ノ任務ノ點ト構成人員トヲ決定スルコトトナレリ
諮問委員會ハ前回會議ニ於テ小委員會ヲ設置スルコトニ決定シタルコトハ前述ノ如クナルガ十月一日公開會議ニ於テ小委員會ノ構成ヲ決定シタリ
小委員會ノ任務、性質等ノ點ニ付テハ議長ヨリ
(イ)小委員會ハ諮問委員會ニ地位スルモノニアラス
(ロ)小委員會ヨリ委員會ニ報告ヲ提出シ委員會ヨリ總會ニ之ヲ提出

外務省

12.9 S 1.1.1.0 -27

4433

0050

英ノ意見

スルコト
① 總會開催中ニ報告ヲ作成スルコト
ノ三點ニ付キ説明アリタリ
英國代表「クランボーン」ハ右議長ノ言ニ賛成シ小委員會ノ任務、
権限トシテハ

佛ノ支持

支那側ノ
修正意見

548

提案セル處佛國代表ハ議長ト英代表ノ説ヲ支持シ小委員會ハ問題ノ
全般ニ付研究シ其ノ結果適當ノ結論ヲ抽出スヘキナリト述ヘタリ
顧維鈞ハ前記英代表ノ提案ニ賛成スヘキモ唯其ノ一點支那ノ事態ノ
審査ト云フハ漠然ニ失スルヲ以テ「日支紛争ノ結果生スル事態ノ審
査」トセンコトヲ主張シ、英國代表之ニ賛成セルヲ以テ委員會ノ任

外務省 45

12.9
S 1.1.1.0 - 27

4434

0051

小委員會
構成國

549

務、権限ノ問題ハ右支那代表ノ修正ヲ加ヘ前述ノ通り決定シタリ
議長ヨリ滾、白、英、支、「エクスアドル」、佛、蘭、波、瑞典、蘇
聯ノ十箇國ヲ委員トシテ米國ヲ諮問委員會ニ於ケルト同シ資格ヲ以
テ参加セシムヘキコトヲ提案ス、「クランボーン」ハ議長「「ヲト
ビア」代表「ムシテルス」」ヲ追加センコトヲ主張シ支那之ヲ支持
シ、蘇聯ハ新西蘭ヲ追加センコトヲ提案シ、英佛之ニ賛成シ、右兩
國ヲ追加スルコトトシテ前記議長提案通り決定シタリ
（其ノ際波蘭代表ハ同國ハ請願ノ上ナラテハ小委員會ニ参加受諾シ
得スト述ヘタリ）

外務省 46

12.7
S 1.1.1.0 - 27

4435

0052

551

ヲ構スルコトヲ宣言ス

外務省

12.0
S 1.1.1.0 - 27 4437

0054

550

支那代表顧維鈞ハ十月一日諮問委員會ノ席上要旨左ノ如キ決議案ヲ
 配布シタリ

(一) 日本ハ支那領土ノ大部分ニ侵入シタル強大ナル軍隊ヲ支那ニ送
 ル「イニシアチブ」ヲ取リ

(二) 日本ハ支那海上封鎖ヲ宣言スルト共ニ日本艦隊ハ支那ノ諸港ヲ
 爆撃シ

(三) 日本空軍ハ空爆ノ爲支那領土ニ侵入シ

(四) 紛争ノ平和的解決達成ヲ目的トシタル申入レヲ拒絶シ

(五) 就中諮問委員會ノ事業ニ参加要請ヲ拒絶シ

(六) 日本ハ華府條約及不戰條約ノ規定並ニ國際法ノ根本的規律ヲ無
 視シ戰闘ヲ行ヒ

(七) 諮問委員會ハ國際法及契約義務ノ違反ヲ非難シ且支那沿岸ノ不
 法ナル封鎖ヲ非難シタルニ據リ

上記ノ事實ハ規約第十條ニ於テ聯盟國ニ對スル外部ノ侵略ノ場合

外務省

12.0
S 1.1.1.0 - 27 4436

0053

REEL No. A-0225

アジア歴史資料センター

553

- 2 -

1928, of which she is a signatory, and of the fundamental rules of international law,

The Advisory Committee condemns these violations of international law and of contractual obligations,

Condemns the illegal blockade of the Chinese coasts,

And declares that the facts noted above constitute a case of external aggression against a member of the League of Nations under Article Ten of the Covenant. ~~(Covenant)~~

外
務
省

50

12.7

S 1.1.1.0 - 27

4439

0056

552

Whereas Japan has taken the initiative sending to China powerful armies which have invaded large portions Chinese territory,

Whereas Japan has proclaimed a maritime blockade of China, and her fleet has bombarded various Chinese ports,

Whereas the Japanese air force has also proceeded in Chinese territory to aerial bombardments, the illegal character of which has been condemned by a resolution of this Committee dated September 27, 1937, which was endorsed by Assembly at meeting September 28,

Whereas Japan has rejected the overtures made to her with a view to arriving at pacific settlement of dispute,

Whereas she has in particular declined invitation made to her on September 21 to participate in work of Advisory Committee,

Whereas Japan has undertaken hostilities in defiance of the provisions of Washington Treaty of February 22, 1922, and of Pact of Paris of April 27,

外
務
省

49

12.7

S 1.1.1.0 - 27

4438

0055

REEL No. A-0225

0293

アジア歴史資料センター

願ノ説明

支那側提出ノ決議案ニ關スル一般討議ハ引續キ行ハレタルガ勢願
維鈞ハ右決議案ノ趣旨ニ關シ決議案ノ意味ハ甚タ簡單ニシテ日本ノ
陸海空軍ノ行動ハ疑ナク規約第十條ノ侵略ノ事實ヲ構成ス、
仍テ侵略ノ事實ヲ明白ニ認メ之ヲ宣明セサルヘカラスト説明スル所
アリ

議長提案

議長ハ右決議案ハ小委員會ニ移シ之ヲシテ他ノ問題ト共ニ審議セシ
ムヘキモノナルコトヲ提議シ、願ハ小委員會ハ總會終了前ニ報告ヲ
提出スヘク然ル後引續キ他ノ問題ニ付テモ審議スヘキモノト了解ス
ト述フ、依テ問題ヲ小委員會ニ移シ之ヲシテ自由ニ審議セシムルコ
トトナレリ

小委員會ノ專業

十月一日午前ノ諮問委員會ニ引續キ直ニ小委員會開催セラレタルカ
小委員會ハ支那側提出ノ決議案ニ對スル態度決定ノ爲ニハ支那側提
出ノ文書ノ外ニ義和團議定書、上海停戰協定並ニ日本政府ノ通告其

554

外務省

12.9

S 1.1.1.0 - 27

4440

0057

事務局覺
書ノ内容

ノ他「アベイラブル」ナル日本側ノ材料ヲモ審查ノ要アリトシテ事
務局ヲシテ之ヲ準備セシムルコトニ決定シタリ

右決定ニ從ヒ作成セラレタル事務局覺書ハ

(イ) 事件ノ経緯ニ關スル記述ハ軍事の行動及外交交渉ノ兩方面ニ亘リ

右ニ關シ日支双方ノ陳述又ハ聲明ヲ略述シ日本側ノ説明ニ關シテ

ハ廣田外務大臣議會演説及情報部長談等ヲ引用シ

(ロ) 法律關係ニ關シテハ本事變ト北清事變議定書、九國條約及不戰條

約等ノ既存條約トノ關係ヲ記述セルモノナリ

小委員會ハ二日ノ秘密會議ニ於テ右覺書ニ關シ種々討議ヲ重ネタル

結果其ノ際各國代表ヨリ提議セラレタル各種修正案ヲ綜合シ再起草

方ヲ事務局ニ命シ四日午前再會合ノコトニ決定シタリ

小委員會ハ四日午前會合シ事務局ノ再起草ニ係ル覺書ノ事件ノ事實

的記述ニ關シ審議シ、午後再ヒ會合シ、右ニ對スル結論ヲ討議シタ

ル結果(一)日本ノ支那ニ對スル侵入ノ事實ヲ認メ(二)右ハ日本ノ自衛行

事務局覺
書審議

555

外務省

12.9

S 1.1.1.0 - 27

4441

0058

英支兩國
提案ノ對

556
起草委員
會ノ任命

動ト認メラレ得サルコト及(白)右ハ九國條約ニ違反スルコトヲ結論ト
スルコトトナリタリ
小委員會ハ同日夜再ヒ會合シ總會ニ提出スヘキ提案案ノ討論ニ入り
タル所英國代表ヨリ總會ハ九國條約締約國タル聯盟國ニ對シ將來適
當ナル時期ニ於テ太平洋關係國會議開催ノ斡旋方ヲ要請スヘシトス
ル提案アリタリ

右英國代表提案ニ對シ支那代表ハ日本ノ侵畧ヲ確認スルコトカ先決
問題ナル旨ヲ力説シテ讓ヲス若シ侵畧ヲ確認スルナラハ九國條約圖
ニ對スル要請ノ件ヲ受諾スヘシト述ヘタリ茲ニ於テ英國代表ハ日本
側ノ所謂太平洋關係國會議ニ對スル態度ニ付テハ何人モ豫知シ得ザ
ル所ナルモ若シ此ノ際右侵畧ヲ確認スルニ於テハ日本側ノ參加ヲ益
々困難ナラシムヘシトテ之ニ反對シ英支兩國提案對峙ノ感ヲ呈シタ
リ
議論紛糾ヲ重ネタル結果議長、英、佛、蘇聯、濠洲及支那代表ヨリ

外務省

12.9 S 1.1.1.0 - 27 4442

0059

小委員會
報告書案
及決議案
ノ審議

557

成ル起草委員會ヲ任命シ右委員會ヲシテ何等力適當ナル「フォーミ
ュラ」ヲ發見セシムルコトニ決定シタリ右起草委員會ハ五日午前會
合シタル結果小委員會ニ提出スヘキ決議案ヲ採擇シタリ
諮問委員會ハ五日午後會合シ小委員會ヨリ廻付サレタル日支紛争報
告書草案決議案ヲ上程審議ノ結果波蘭、瑞西ノ棄權及加奈陀ノ留保
ヲ除キ全會一致ニテ採擇シタリ
總會ハ諮問委員會ニ引續キ五日夜開會諮問委員會ヨリ廻付セラレタ
ル日支紛争ニ關スル報告書並ニ決議案ヲ上程審議ユ入りタルカ勢頭
波蘭及暹羅兩國代表ハ本案棄決ニ際シ棄權スヘキ旨ヲ豫メ聲明スル
所アリ、續イテ各國代表ノ演說ニ移リタルカ勢頭、加奈陀兩國代表
ハ本國政府へ諮問ヲ希望シ結局棄決ハ六日ニ延期セラレタリ

外務省

12.9 S 1.1.1.0 - 27 4443

0060

弱メ依テ現在ノ紛争ニ於ケル支那ノ困難ヲ増大セシムル效果ヲ有
 スヘキ虞アル一切ノ行動ヲ差控フヘク且各個ニ於テ支那ニ對スル援
 助ヲ爲シ得ル程度ヲ考慮スヘキコトヲ勸奨シ
 總會ノ本會期ヲ休會シ議長ニ對シ諮問委員會ノ要請アルトキハ更ニ
 會合ヲ召集スヘキ權限ヲ賦與ス

外務省

聯盟總會ハ翌六日午後開催諮問委員會ノ提出ニ係ル決議案ヲ表決ニ
 附シタル結果棄權ニ票滿場一致ヲ以テ之ヲ採擇シタリ
 右決議全文左ノ如シ

諮問委員會決議

諮問委員會ハ其ノ小委員會ヨリ一九三七年十月五日提出セラレタル
 二箇ノ報告書ヲ自己ノ報告書トシテ採擇シ之ヲ總會、聯盟諸國及亞
 米利加合衆國政府ニ通告スルコトニ決ス
 委員會ハ左記ノ決議ヲ總會ニ提出シ其ノ協贊ヲ求ム
 總會ハ日支兩國間ノ紛争問題ニ關シ其ノ諮問委員會ヨリ總會ニ提出
 セラレタル報告書ヲ自己ノ報告書トシテ採擇シ
 右報告書第三ニ包含セラレタル提案ヲ承認シ總會議長ニ對シ一九二
 二年二月六日ノ華府九國條約締約國タル聯盟國ノ會議ヲ召集スヘキ
 案ニ關シ必要ナル行爲ヲ執ルヘキコトヲ要請シ
 支那ニ對スル精神的援助ノ意ヲ表シ且聯盟諸國ニ對シ支那ノ抵抗力

外務省

條約局長

(二)

は(三)

第三次會
合小委員
會ノ任命

經過概要

佛ノ小委
員會設置
提案

英ノ支持
560持

(1) 小委員會ノ設置

諮問委員會ハ二十八日午後開會ノ筈ナリシ處第六委員會西班牙問題ノ審議カ紛糾シ時間ナキ爲且疫病防遏ニ關スル援助問題ヲ議スヘキ對支技術援助理事委員會モ準備整ハサル爲延期セラレ居リタル處二十九日午後會合シ公開會議ニ於テ小委員會ヲ設置スルコトニ決定セリ
右會合ニ於ケル經過概要ヲ記セバ先ヅ「ハリソン」(米)ハ「ハル」國務長官ガ二十八日附ヲ以テ無防禦地域ノ空爆ハ國際法ト人道ノ原則ニ違反スル旨宣言セルコトヲ披露シ、「エグアドル」代表ハ聯盟ハ國際法ノ蹂躪ヲ阻止シ違反ノ事實ヲ宣言セサルヘカラス少クモ支那ニ精神的援助ヲ與フヘシト述ヘ佛國代表ハ本件カ複雜ナルコトヲ注意シ委員會ノ任務遂行ノ方法ヲ研究シ決議案ヲ作成スル爲小委員會設置方ヲ提案シタリ
英國代表ハ佛國提案ヲ支持シ、委員會ハ既ニ戰爭手段ノ或モノヲ糾

外務省

S 1.1.1.0 - 27 4446

0063

支那側ノ
主張

561

彈セル決議ヲ採擇セルカ今後取ルヘキ方法トシテ委員會カ實行不能ノ案ヲ考慮スルハ不可ナリ、濠洲代表カ總會ニ於テ述ヘタル關係國會議ノ案ニ對シテハ英國ハ他國カ贊成ナラハ自ラモ贊成スヘキカ之ニ至ル迄前記小委員會ヲ開催スルハ甚タ有益ナルヘク小委員會ニ對シテハ諮問委員會ト同シ任務權限ヲ與フヘキナリト述ヘタリ
右ニ對シ顧維鈞ハ委員會ノ爲スヘキコトトシテハ侵略ニ關スル一般的ノ問題ト具體的ニ侵略ヲ制止シ被侵略者ニ援助ヲ與フル問題トアリ、小委員會設置案ニハ反對セサルモ其ノ前ニ委員會全体ニ於テ侵略ノ存在ヲ明カニシ且小委員會ニ對スル具體的指針ヲ與フル要アルヘク小委員會ノ構成ニ付テハ地方的利害關係國ノミニ極限セサル様主張シタリ

外務省

S 1.1.1.0 - 27 4447

0064

REEL No. A-0225

アジア歴史資料センター

加奈陀ノ
態度

小委員會
ノ權限、
任務、
見議長ノ意

562

加奈陀代表ハ小委員會設置ニ付テハ何等訓令ヲ所持セサル處從來ノ一般的訓令ノ意味ハ寧ロ否定的ナリトテ棄權スヘキコトヲ聲明シタリ

議長ハ小委員會ニ對スル委員事項ト其ノ人名ハ次回ニテ披露スヘキコトトシテ兎モ角其ノ設置ノ點丈ケ茲ニ決定スヘシト述ヘタル處支、白、濠、蘇四國代表ノ間ニ意見ノ交換アリタル後結局三十日ノ會議ニ於テ小委員會ノ任務ノ點ト構成人員トヲ決定スルコトトナレリ

諮問委員會ハ前回會議ニ於テ小委員會ヲ設置スルコトニ決定シタルコトハ前述ノ如クナルガ十月一日公開會議ニ於テ小委員會ノ構成ヲ決定シタリ

小委員會ノ任務、性質等ノ點ニ付テハ議長ヨリ

(イ) 小委員會ハ諮問委員會ニ位スルモノニアラス

(ロ) 小委員會ヨリ委員會ニ報告ヲ提出シ委員會ヨリ總會ニ之ヲ提出

外務省 57

12.9 S 1.1.1.0 - 27 4448

0065

英ノ意見

佛ノ支持

支那側ノ
修正意見

563

スルコト

(イ) 總會開催中ニ報告ヲ作成スルコト

ノ三點ニ付説明アリタリ

英國代表「クランボーン」ハ右議長ノ言ニ賛成シ小委員會ノ任務、權限トシテハ

(イ) 支那ニ於ケル事態ヲ注視シ

(ロ) 之ヨリ生スル總テノ問題ニ付テ審議シ

(ハ) 適當ト思考スル總テノ提案ヲ委員會ニ爲シ得ルコトトスヘキコトヲ

提案セル處佛國代表ハ議長ト英代表ノ說ヲ支持シ小委員會ハ問題ノ全般ニ付研究シ其ノ結果適當ノ結論ヲ抽出スヘキナリト述ヘタリ

顧維鈞ハ前記英代表ノ提案ニ賛成スヘキモ唯其ノ一點支那ノ事態ノ審査ト云フハ漠然ニ失スルヲ以テ一日支紛争ノ結果生スル事態ノ審査トセンコトヲ主張シ、英國代表之ニ賛成セルヲ以テ委員會ノ任

外務省

12.9 S 1.1.1.0 - 27 4449

0066

REEL No. A-0225

0225

アジア歴史資料センター

小委員會
構成國

務、權限ノ問題ハ右支那代表ノ修正ヲ加ヘ前述ノ通ノ決定シタリ
議長ヨリ濠、白、英、支、「エクアドル」、佛、蘭、波、瑞典、蘇
聯ノ十箇國ヲ委員トシテ米國ヲ諮問委員會ニ於ケルト同シ資格ヲ以
テ參加セシムヘキコトヲ提案ス、「克蘭ボーン」ハ議長（「ラト
ビア」代表「ムテルス」）ヲ追加センコトヲ主張シ支那之ヲ支持
シ、蘇聯ハ新西蘭ヲ追加センコトヲ提案シ、英佛之ニ贊成シ、右兩
國ヲ追加スルコトトシテ前記議長提案通ノ決定シタリ
（其ノ際波蘭代表ハ同國ハ請訓ノ上ナラテハ小委員會ニ參加受諾シ
得スト述ヘタリ）

564

外務省

S. 1.1.1.0 - 27 4450

0067

支那提出
決議案

支那代表ハ十月一日諮問委員會ノ席上左ノ如キ決議案ヲ配布シタリ
Whereas Japan has taken the initiative sending to China powerful
armies which have

565

外務省

S. 1.1.1.0 - 27 4451

0068

567

- 2 -

1928, of which she is a signatory, and of the fundamental rules of international law,

The Advisory Committee condemns these violations of international law and of contractual obligations,

Condemns the illegal blockade of the Chinese coasts,

And declares that the facts noted above constitute a case of external aggression against a member of the League of Nations under Article Ten of the Covenant. ~~(over)~~

外
務
省

64

12.7

S 1,1,1,0 - 27

4453

0070

566

Whereas Japan has taken the initiative sending to China powerful armies which have invaded large portions Chinese territory,

Whereas Japan has proclaimed a maritime blockade of China, and her fleet has bombarded various Chinese ports,

Whereas the Japanese air force has also proceeded in Chinese territory to aerial bombardments, the illegal character of which has been condemned by a resolution of this Committee dated September 27, 1937, which was endorsed by Assembly at meeting September 28,

Whereas Japan has rejected the overtures made to her with a view to arriving at pacific settlement of dispute,

Whereas she has in particular declined invitation made to her on September 21 to participate in work of Advisory Committee,

Whereas Japan has undertaken hostilities in defiance of the provisions of Washington Treaty of February 22, 1922, and of Pact of Paris of April 27,

外
務
省

63

12.7

S 1,1,1,0 - 27

4452

0069

REEL No. A-0225

0300

アジア歴史資料センター

願ノ説明

支那側提出ノ決議案ニ關スル一般討議ハ引續キ行ハレタルガ勢頭願
維鈞ハ右決議案ノ趣旨ニ關シ決議案ノ意味ハ甚タ簡單ニシテ日本ノ
陸海空軍ノ行動ハ疑ナク規約第十條ノ侵略ノ事實ヲ構成ス
仍テ侵略ノ事實ヲ明白ニ認メ之ヲ宣明セサルヘカラスト説明スル所
アリ

議長提案

議長ハ右決議案ハ小委員會ニ移シ之ヲシテ他ノ問題ト共ニ審議セシ
ムヘキモノナルコトヲ提議シ、願ハ小委員會ハ總會終了前ニ報告ヲ
提出スヘク然ル後引續キ他ノ問題ニ付テモ審議スヘキモノト了解ス
ト述フ、依テ問題ヲ小委員會ニ移シ之ヲシテ自由ニ審議セシムルコ
トトナレリ

小委員會ノ事業

十月一日午前ノ諮問委員會ニ引續キ直ニ小委員會開催セラレタルガ
小委員會ハ支那側提出ノ決議案ニ對スル態度決定ノ爲ニハ支那側提
出ノ文書ノ外ニ義和團議定書、上海停戰協定並ニ日本政府ノ通告其

568

外務省

12.9

S 1.1.1.0 - 27

4454

0071

事務局覺
書審議

ノ他「アベイラブル」ナル日本側ノ材料ヲモ審査ノ要アリトテシ事
務局ヲシテ之ヲ準備セシムルコトニ決定シタリ
小委員會ハ二日ノ祕密會議ニ於テ事務局作成ニ係ル事變ノ歴史的敘
述ヲ基礎トシ種々討議ヲ重ネタル結果其ノ際各國代表ヨリ提議セラ
レタル各種修正案ヲ綜合シ再起草方ヲ事務局ニ命シ四日午前再會合
ノコトニ決定シタリ

569

外務省

66

12.9

S 1.1.1.0 - 27

4455

0072

570

右事務局覺書ノ内容ハ嚴秘ニ附セラレ居ルモ當方ノ探リ得タル所ニ依レハ

(イ) 事件ノ経緯ニ關スル記述ハ軍事の行動及外交交渉ノ兩方面ニ亘リ右ニ關シ日支双方ノ陳述又ハ聲明ヲ略述シ日本側ノ説明ニ關シテハ廣田外務大臣議會演說及情報部長談等ヲ引用シ

(ロ) 法律關係ニ關シテハ本事變ト北清事變議定書、九國條約及不戰條約等ノ既存條約トノ關係ヲ記述セル趣ナリ

右覺書ハ支那側提出決議案前段ノ敘述的部分ニ換ヘントスル意向ヲ以テ作成セラレタルモノニシテ此ノ點ヨリ果シテ如何ナル結論ヲ導出スヘキヤニ關シテハ次回會合ニ於テ論議セラルル筈ナリ

小委員會ハ四日午前會合シ事務局ノ再起草ニ係ル事實的記述ニ關シ審議セルカ議論紛糾シ未タ意見纏ラサル模様ナル處五日午後ノ會議ニ於テ事務局起草ニ係ル事件ニ關スル事實的記述ノ覺書ヲ可決セル由ナリ

外務省

12.9

S 1.1.1.0 - 27

4456

0073

571

五日小委員會ニ依リ採擇セラレタル前記事務局ノ覺書ハ(一) 事變前ノ情勢(二) 法律關係及(三) 事件ノ経緯(支那ノ陳述及日本側ノ聲明等ヲ引用ス)ノ三部ヨリ成リ居リ結論トシテ議長ノ提案アリ右提案ノ主要點ハ

一 日本ノ行動ハ九國條約及不戰條約ニ違反シ居ルコト

二 條約違反ノ行動ニ依リ齎セル結果ハ聯盟國タルト非聯盟國タルトヲ問ハス之ヲ承認セサルコト

三 停戰ヲ提唱スルコト

ノ三項目ナリ

外務省

12.9

S 1.1.1.0 - 27

4457

0074

573

月六日ノ九國條約及一九二八年八月二十七日ノ巴里協定ニ基ク日本ノ義務ニ違反スルモノナリトノ意見ヲ表示セザルヲ得ズ

外務省

S 1.1.1.0 - 27

4459

0076

572

日支問題小委員會報告書第四部
日支兩國ハ本紛争ノ根柢及最初ノ敵對行為ノ勃發ニ導ケル事件ニ關シ甚シク其ノ見解ヲ異ニスルコト明白ナリ
然レトモ強力ナル日本軍力支那ノ領域ニ侵入シ且北平ヲモ包含スル廣大ナル地域ヲ軍事的ニ統轄シ居ルコト、日本政府ガ支那ノ船舶ニ對シテ支那海岸ヲ閉鎖スル爲ニ海軍力ニ依ル措置ヲ執リタルコト及日本空軍ガ支那ノ廣ク隔絶セル廣汎ナル地域ニ亘リ爆撃ヲ加ヘツツアルコトニ付テハ疑ヲ挾ム余地ナシ
本委員會ニ提出セラレタル事實ヲ検討シタル上委員會ハ日本ガ支那ニ對シ陸上、海上及空中ヨリ加ヘツツアル軍事行動ハ本紛争ヲ惹起セシメタル事件ト權衡ヲ失スルコト、斯ル行動ハ到底日本政治家ガ其ノ政策ノ目的ナリトシテ確言シタル兩國間ノ友誼的協調ヲ容易ナラシメ若ハ促進スル所以ニアラサルコト、右ハ現存法律文書又ハ自衛權ノ何レニ依ルモ是認セララルルヲ得ザルコト及右ハ一九二二年ニ

條約局長

外務省

S 1.1.1.0 - 27

4458

0075

REEL No. A-0225

アジア歴史資料センター

總會ノ本會期ヲ休會シ議長ニ對シ諮問委員會ノ要請アルトキハ更ニ
會合ヲ召集スヘキ權限ヲ賦與ス

外務省

72

12.9

S 1.1.1.0 - 27

4461

0078

諮問委員會決議

諮問委員會ハ其ノ小委員會ヨリ一九三七年十月五日提出セラレタル
二箇ノ報告書ヲ自己ノ報告書トシテ採擇シ之ヲ總會、聯盟諸國及亞
米利加合衆國政府ニ通告スルコトニ決ス
委員會ハ左記ノ決議ヲ總會ニ提出シ其ノ協贊ヲ求ム
總會ハ日支兩國間ノ紛争問題ニ關シ其ノ諮問委員會ヨリ總會ニ提出
セラレタル報告書ヲ自己ノ報告書トシテ採擇シ
右報告書第二ニ包含セラレタル提案ヲ承認シ總會議長ニ對シ一九二
二年二月六日ノ華府九國條約締約國タル聯盟國ノ會議ヲ召集スヘキ
案ニ關シ必要ナル行爲ヲ執ルヘキコトヲ要請シ
支那ニ對スル精神的援助ノ意ヲ表シ且聯盟諸國ニ對シ支那ノ抵抗力
ヲ弱メ依テ現在ノ紛争ニ於ケル支那ノ困難ヲ増大セシムル效果ヲ有
スヘキ虞アル一切ノ行動ヲ差控フヘク且各個ニ於テ支那ニ對スル援
助ヲ爲シ得ル程度ヲ考慮スヘキコトヲ勸奨シ

外務省

71

12.9

S 1.1.1.0 - 27

4460

0077